

2010年5月24日

昭和電線ケーブルシステム株式会社
タイコ エレクトロニクス ジャパン合同会社

22/33kV常温収縮型直線接続部の開発（商品名：S-ONE J エスワンジエイ）

昭和電線ケーブルシステム株式会社(東京都港区 社長 山田真彦)およびタイコエレクトロニクスジャパン合同会社(川崎市高津区 社長 江部秀)は共同で、従来品と比較して組立作業を簡略化し、作業時間を短縮した22/33kV 常温収縮型直線接続部ワンピースジョイント（商品名：S-ONE J エスワンジエイ）を開発しました。

従来の22/33kV常温収縮型直線接続部は、工場でモールド成型されたゴムブロック、ゴムブロックの外側に取り付ける金属遮へい層および防水保護層の3個の主要材料とその他の消耗材から成ります。組立作業は、①拡径したゴムブロックをケーブルに装着②編組線を巻き付けて金属遮へい層を形成③その上に熱収縮チューブで防水保護層を形成 の順で行ないますが、金属遮へい層と防水保護層の処理工程は直線接続部の工程の中でも時間がかかる作業であり、さらなる改善が望まれていました。

そこで、昭和電線ケーブルシステムとタイコエレクトロニクスジャパンは共同で22/33kV 常温収縮直線接続部の改良を行い、日本の規格に適用した22/33kV 常温収縮型直線接続部 ワンピースジョイント（S-ONE J）を製品化しました。

本製品は、金属遮へい層と防水保護層を一体拡径させたゴムブロックにユニット化させ、工期短縮と組立作業の簡略化を実現しました。

特 長

開発した22/33kV 常温収縮型直線接続部は次の特長を有します。

①工期短縮

従来は別々の部材で構成されていた金属遮へい層および防水保護層をゴムブロック上に一体拡径し、組立作業の簡略化、工期短縮を実現しました。

1 相あたりの組立作業時間は下記の通りです。

- | | |
|---------------------------|-------------|
| ・従来テープ巻き直線接続部 | 2 時間 |
| ・従来常温収縮型直線接続部 | 1.5 時間 |
| ・ワンピースジョイント S-ONEJ | 1 時間 |

②特別な工具必要なし

ゴムブロックの装着はスパイラルコアを抜き取る作業のみで特別な工具は必要としません。

③信頼性

全ての部品を一体拡径して工場から出荷するため、信頼性が向上しています。



以 上

本件に関するお問い合わせ先：

昭和電線ホールディングス株式会社 経営企画部 IR・広報グループ 菅井 TEL 03-5532-1911

【S-ONEJ の組立作業】

(1) 接続処理されたケーブル絶縁体上にユニットを移動

拡張されたゴムユニットの上に金属遮蔽層と防水保護層が一体化



(2) スパイラルコアを抜き取り、ゴムユニットを収縮させ、ケーブルに装着

ゴムユニットが収縮

スパイラルコア



(3) 両端の遮蔽処理 ~ 防水保護層の戻し



(4) 防水保護層の戻し

折り返してある防水保護層



(5) 完成



タイコ エレクトロニクス ジャパンは、世界最大級の電子部品サプライヤーである米タイコ エレクトロニクス社(TE)の日本法人。TEは世界規模で急激に成長するエレクトロニクス業界のリーディングカンパニーの役割を担い、電子部品、ネットワークソリューション、海底通信システムにおいて 2009 年度には 150 カ国以上で 103 億ドルの売り上げを達成した。私たちは自動車、家電製品、航空宇宙、情報通信、コンピュータ、産業装置、医療機器、再生可能エネルギーなど多岐に渡る分野で約 7000 名のエンジニアと、販売、生産、カスタマーサービス担当者など全てにおいて、日々世界中でお客様にアドバンテージをお届けすることに尽力している。タイコ エレクトロニクス ジャパンは、昨年 9 月にアンプを存続会社として、国内の関連日本法人 3 社(レイケム、イーシー、メイコム)と統合合併し新たに発足。本製品の担当はタイコエレクトロニクスジャパン 電力製品本部。